

Governor's Monthly Communication

Vol. 2
2014.8.1

Content

- 表紙・2…第105回ロータリー国際大会に出席して
3……「会員増強および拡大月間に因んで」
4……地区大会のご案内
5・6・7…担当地区委員長挨拶
7……文庫通信
8……2015 - 2016 年度派遣交換学生募集



2014 - 2015 年度
国際ロータリー会長

ゲイリー C.K. ホアン (黄其光)

国際ロータリー第2690地区 (鳥取・島根・岡山)

2014 - 2015 年度 ガバナー 松本 祐二

(地区スローガン) 「笑顔でSERVICE」



第105回 ロータリー国際大会に 出席して

国際ロータリー 第2690地区
2014-2015年度 ガバナー

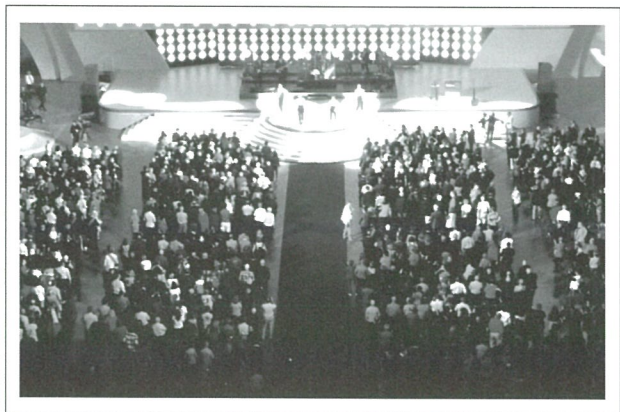
松本 祐二 (Yuji Matsumoto)



2013-14年度の国際大会はオーストラリアのシドニーで開催されました。昨年リスボン大会、一昨年のバンコク大会と連続3回目の出席となりました。5月30日の夜に成田空港からのフライトでした。今回の大会には本大会の前日の5月31日にEnd Polio Now-Make History Today 3K Walkと

いう3キロ歩いてポリオ撲滅支援というイベントがあり事前にインターネット上で登録して参加してみました。約9時間の飛行で早朝のシドニーに到着後、空港から会場のあるシドニー・オリンピック・パークに直接向かいました。2000年に開かれたオリンピックの会場の施設を使っただけの大会でした。広い受付会場では当地区の伊藤文利PG御夫妻がSAAをされており色々とお世話になりました。本大会の登録確認を済ませてICカードのついたネームカードを受け取り3キロウォークの受付会場に回りました。日本人の姿もかなり見かけ、知り合いのロータリアンとも出会いました。開会式ではロンド、パートナー会長の鳴らす合図でウォーキングが始まりました。実際に歩いてみると4キロ余りあったようで、飛行機の中での運動不足の解消にはなりました。

その後、会場を離れてシドニー湾を望むレストランでシーフードを楽しみ、連絡船を乗り継いでオペラハウスやシドニーブリッジを海から眺めホテルに入りました。



6月1日は早朝から日本人朝食会が宿泊していたホテルの近くで開催され出席、思いがけずに愛知県のロータリアンで大学の同級生にも出会いました。日本人朝食会の会場から本会議場まではシドニー市内の電車で約30分ですので、いったんホテルに帰ってゆっくりと会場に向かいました。11時半からの第1回目の開会式に出席しましたが、友人の多くが第2回目の開会式に出席予定ということで別行動となり一人で会場に向かいました。会場ではフェイスブック上で交流のあるロータリアンで、友愛の広場に展示ブースを出している広島のロータリアンと初めて出会い二人で一緒に開会式に出席しました。

開会式では開会宣言と歓迎の辞が、シドニー国際大会委員長からあり、続いてニューサウスウェールズ州知事、そして、トニー・アボット首相が歓迎の辞を述べに登壇され、首相自らの祝辞の中でオーストラリア政府がポリオ撲滅のために1億ドルの寄付をすると発表して会場内のロータリアンは総立ちで拍手をしていました。その後は約1時間オーストラリアのヒューマン・ネイチャーという4人の男性ヴォーカルグループの余興を楽しみました。

国際大会の友愛の広場では、東日本大震災の孤児をイギリスから支援している、ロータリアンの田中ソロウエイ明美さんのブースでしばらく話し込んでいました。



6月2日の夜は第2690地区の森本信一ガバナーご夫妻主催のシドニーでのガバナーナイトが開催され市内中心部の日本料理店で地区内からの出席者のうち渡辺元RI理事、そして佐藤ノミニーご夫妻など10人ほどが集まり色々と情報交換をしました。



3日は会長エレクト主催リーダーシップ昼食会、翌日はOn to Sao Paulo昼食会にも出席して、多くのロータリアンとの交流をすることができました。バンコク大会、リスボン大会でも同様でしたが、今回は多くのフェイスブックなどのインターネット上の友人と初めて出会うというチャンスが多く初めて会ってもお互いが何となく知り合いという不思議な感覚を何度も味わいました。その後閉会式ではRI会長エレクトのゲイリーC.K.ホアン氏の講演があり、国際協議会の時と同じくロータリアンの活動をロウソクに例えての「ロータリーに輝きを」についての演説を聞いていました。





「会員増強および拡大月間に因んで」

国際ロータリー 第2690地区
ガバナーエレクト

佐藤 芳郎 (Yoshio Sato)

RIは「増強」を毎年の重点目標に挙げており、全世界の会員数130万人を目指しています。2013-14のR. パートン会長も会員増強を強調されましたが、2014-15のG.ホアン会長も「ロータリアン一人一人がロータリーに輝きをもたらす」ことでロータリーの強化増強を提唱されています。また2015-16のK.R."ラビ"ラビンドランRI会長(エレクト)も特に若い世代と退職高齢者を意識しての勧誘と、地域別対応策策定での増強達成を最優先課題と位置づけられています。さらに2013年の規定審議会では、退職者や家庭の主婦にも会員資格が認められ、新会員候補者の範囲は拡大されています。

わが第2690地区においても日米の傾向と同じく会員減少は続き、かつての4千人超から約3千人にまで減少しており、森本直前ガバナーも松本ガバナーも地区重点目標に増強を掲げておられます。他方で、会員数の減少や低迷を、デフレ継続による地域経済の疲弊の結果という声をよく耳にします。また、「増強」は自分のことではなくて増強委員長が頑張ればよいとか、周りに新会員候補がいないのだから仕方がないとか他人事であるような発言が多いのも寂しい現実です。環境や他人のせいにしたところで事態が改善するわけではありません。「増強」を地区やRIだけに任せるわけにはゆきません。やはり、地区内の各クラブと各ロータリアンが個別に打開策を考案・実行することが肝心です。

「増強」は各クラブにとって直面する死活問題なのです。当たり前の話ですが、クラブ会員の平均年齢は一年たてば1歳上昇します。現在平均年齢55歳のクラブを仮定すると、新会員の入会がなければ10年後には平均年齢65歳に、15年後には70歳になってしまい、徐々にクラブの活動に支障を来すことが予想されます。さて、このクラブの会員数が50名で毎年2名の退会者があるとして、代わりに50歳の新会員を2名入会させることができるとすれば、一年後の平均年齢は55.7歳、10年後には60.8歳となります。もし一年後に平均55歳を維持したいなら新会員は31歳であることが必要です。クラブの活力維持には「増強」の前に「まず補強」が大切であることがよくわかります。

私見ですが、「増強・補強」には、一見遠回りのようです

が「クラブの活性化」が重要と考えています。クラブ会員が「ロータリークラブに所属して良かった」とか「ロータリー活動が楽しみである」とか感じるクラブが望ましいと考えています。現会員がロータリーを楽しみ、意義を感じ、相互理解を深めて真の友人を得、奉仕の理想に燃え、進んで奉仕を実践するような「前向きな雰囲気づくり」が大切でしょう。個々の会員一人一人がロータリーに自分の居場所を見つけ、ロータリーを好きになったら、自分の周りの人にロータリーの良さを説明し、一緒に活動しようと、自信を持って入会勧誘できるようになると思います。「増強はご褒美である」といわれる所以であると感じます。

拙文をご覧のロータリアンの皆様、これから奮って積極的にロータリー活動に参加して、是非ロータリーを「好き」になってください。また、クラブリーダーの皆様には、貴クラブの会員の皆さんがロータリーを「楽しみ」「好きになる」運営をお願いいたします。






Rotary

2014-2015年度 国際ロータリー 第2690地区/鳥取・島根・岡山

地区大会のご案内

2014年10月4日(土)～5日(日)

■大会登録料 会員 5,000円 ご家族 3,000円 事務局 2,500円 懇親会 5,000円

10

3日

記念親睦 チャリティーゴルフ大会

会場 金城カントリークラブ

■開始時間 午前8:30スタート

■表彰式・懇親会 16:00～

■参加登録料 5,000円(賞品代・懇親会費)

■プレーフィー 10,000円(昼食代含む)

*キャディーが必要な場合は、別途費用がかかります。




10

4日(土)

10月4日(土)

会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」/ホテルサンパレス益田

地区指導者育成セミナー

■受付 14:00～ ■開会 14:50～ ■登録料 6,000円

ガバナー補佐・会長・幹事会

■開会 16:50～

RI会長代理ご夫妻 歓迎晩餐会

■受付 17:30～ ■開会 18:00～

■登録料 15,000円



ソプラノ歌手 澤江 衣里 Eri Sawae



国際ロータリー
第2690地区
2014-2015年度
ガバナー
松本 祐二

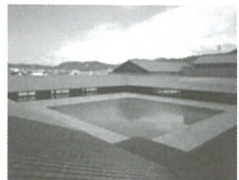


国際ロータリー
第2690地区
2014-2015年度
地区大会実行委員長
右田 明

10月5日(日)

■受付 9:00～

■開会 10:00～



記念講演 13:00～14:00

演題 『和魂和才・すこやかに生きる漢方の知恵』



講師 寺澤 捷年 Katsutoshi Terasawa

千葉中央メディカルセンター 和漢診療科・部長

略歴 Profile

昭和45(1970)年 千葉大学医学部卒業

昭和50(1975)年 同・大学院入学(中樞神経解剖学専攻)

昭和54(1979)年 同・大学院修了(医学博士)

平成11(1999)年 富山医科薬科大学附属病院和漢診療科部長

平成14(2002)年 富山医科薬科大学医学部長(兼任・2ヶ年間)

平成16(2004)年 富山医科薬科大学大学院医学研究科教授

平成17(2005)年 千葉大学大学院医学研究院和漢診療学教授

懇親会 16:00～

■エクスカージョン 雪舟庭園をたずねて

12:00～15:00 ■登録料 3,000円

会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」

10

12日

記念親睦テニス大会

*小雨決行(判断は当日7:00にします)

会場 岡山県総合グラウンド内 南テニスコート

■開始時間 10:00～

■参加登録料 (懇親会費含む) 10,000円 / (プレイのみの場合) 5,000円

主管: オール岡山ロータリアンテニスクラブ

○チェアマン/延原 正(岡山南RC) ○キャプテン/清水 信義(岡山RC)



国際ロータリー
2014-2015年度テーマ
ロータリーに輝きを



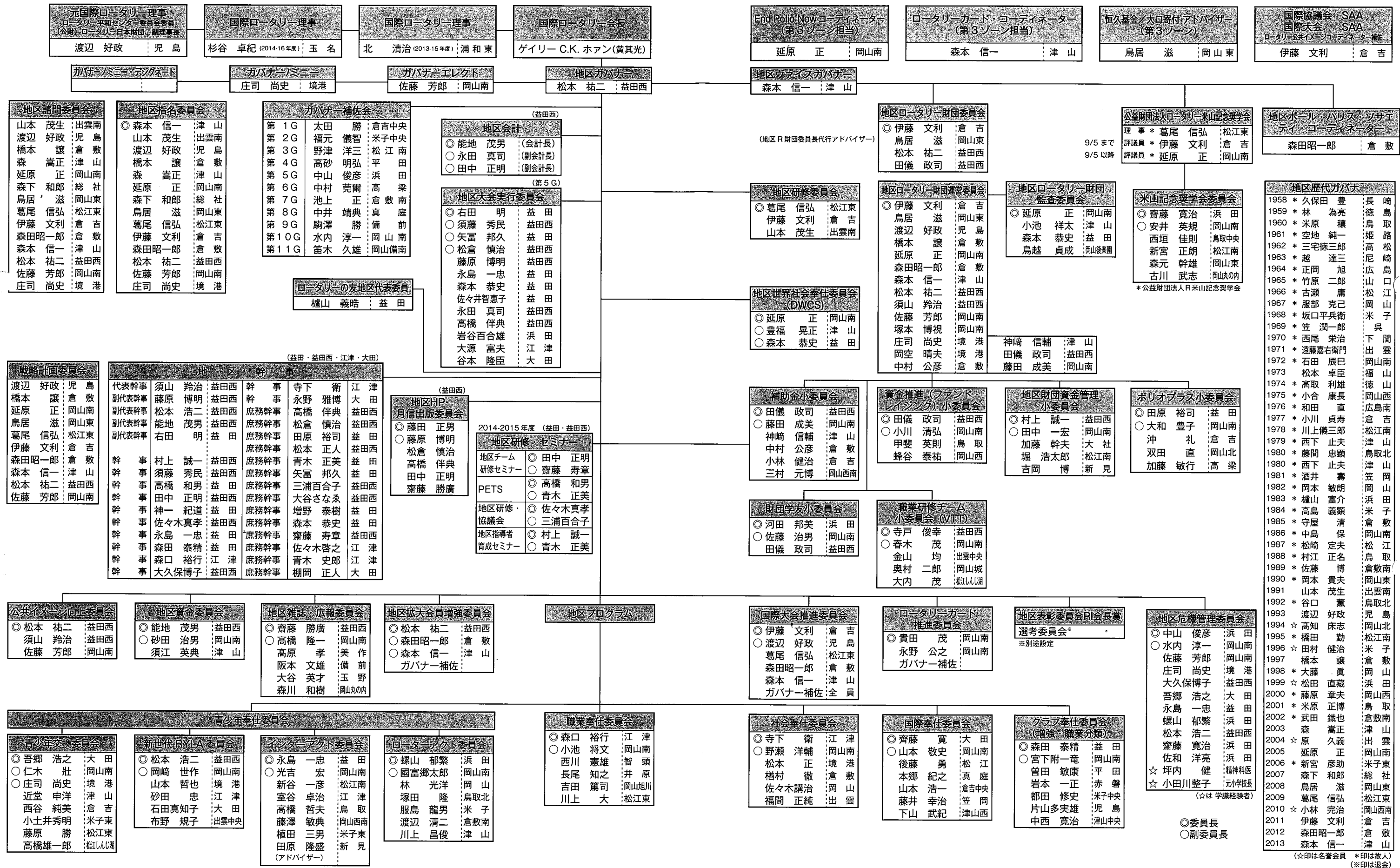
国際ロータリー
第2690地区スローガン
笑顔で SERVICE

ホストクラブ
益田西ロータリークラブ
益田ロータリークラブ
浜田ロータリークラブ
江津ロータリークラブ
大田ロータリークラブ

国際ロータリー第2690地区
2014-2015年度 ガバナー 松本 祐二

〒698-0033 益田市元町12-7 益田商工会議所1F
TEL(0856)25-7269 FAX(0856)25-7268 E-mail:office@rid2690.com

2014. 7. 7 現在
松本祐二ガバナ－事務所
(敬称略)



担当地区 委員長挨拶

地区会計長・地区資金委員会委員長

能地 茂男



今年度、地区会計長・地区資金委員会委員長を拝命いたしました、益田西RCの能地でございます。本年度は、4月の消費税アップ、会員数の減少、第2690地区の西の端という地理的要因による交通費の増等、厳しい地区財政になると思いますが、節約、合理化を推進し支出抑制を図りたいと思います。

しかしながらRIテーマ「ロータリーに輝きを」、地区スロガン「笑顔でSERVICE」の提唱にそうよう、予算配分をよく検討し、実のある地区活動が出来るよう微力ではありますが精一杯頑張りたいと思います。

会員の皆様には、ご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

地区補助金小委員会委員長

田儀 政司



本年度は、地区補助金プログラムに多数のクラブのご参加をいただき、ロータリー財団にクラブ提唱地区補助金プロジェクト36件を申請致しました。

引き続き、承認を受けた地区補助金プロジェクトの実施期間となります。実施に際しては、「地区でよいことをしよう」というロータリー財団の戦略計画に則り立案されたプロジェクトが、参加クラブの地域に社会貢献する様に求められるものと思います。

そして、ロータリアンの行動を主体としたプロジェクト実施による奉仕活動により、ロータリークラブの公共イメージ向上と認知の調和を、実施クラブの地域において図っていただきますようお願い申し上げます。

地区ロータリー(R)財団委員長

伊藤 文利



R財団の役目・目的はとても簡単です。「世界で良い事をしよう、地域で良い事をしよう」を合言葉に我が財団は地球上からポリオ撲滅を願う世界的奉仕活動を継続し、今や最終段階に入る。一方、地区とクラブ会員は汗をかきながら地域の発展に寄与するため財団地区補助金をフル活用して奉仕活動を毎年実施している。これらを実現するには我々が「奉仕の為にお金を出して貯める、そして奉仕の為にそのお金を効果的に使う」を順守する事です。その奉仕活動により、Rの公共イメージやブランド名が高められ、地域住民から信頼され、結果的にその実績・信頼度が会員増強やクラブ強化に繋がります。今年度、皆様のご協力・ご理解を大いに期待しています。

地区米山記念奨学会委員会委員長

齋藤 寛治



米山記念奨学会は、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。今年度の奨学生採用数は716名、その内第2690地区は20名です。寄付金額の多い地区により多くの奨学生の採用枠が割り当てられます。今年度の地区目標は普通寄付 一人5,000円、特別寄付 一人10,000円、米山功労者 (10万円) 200名以上です。寄付金の増進をお願い致します。8月31日(日) 岡山全日空ホテルで、米山奨学事業への一層の理解を深めていただく為に「クラブ米山記念奨学委員長研修会」並びに「米山奨学生・学友親睦会」を開催いたします。関係されます皆様には、ご出席の程宜しくお願い致します。

地区財団学友小委員会委員長

河田 邦美



ロータリー財団の使命である世界理解と平和を促進するため将来を担う人材を育てることを目的とする奨学生プログラムがあります。財団の「未来の夢計画」の奨学金制度にはグローバル補助金奨学生と地区補助金奨学生があり、幅広い留学機会を提供しています。

近年は、日本から世界各地への留学生数が減少傾向といわれていますが、地区内各クラブの積極的ご支援により、ロータリー財団奨学生への推薦・申請が増加することを願っています。

2015-16年度の財団奨学生の募集予定は申請締切り2015年2月、選考・決定は3月です。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

地区ポリオプラス小委員会委員長

田原 裕司



松本ガバナーは、「関係機関との連携でポリオの絶滅計画に大きく関与しているロータリーのポリオに関する活動も最終ステージに入ってきています。ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史的に1ページを刻みましょう」と地区内ロータリアンにメッセージを発信されています。

達成するためには、年次基金への寄付150米ドル/人、ポール・ハリスフェロー300人、ポール・ハリス・ソサエティへの入会推進30人、大口寄付の推進(10000米ドル)5から10人。End Polio Nowへの参加で、地域で広報・募金活動を実施する事とソーシャルメディアへの投稿を実行して下さい。

ロータリービジネスカードを作ってポリオ撲滅しましょう。

地区ロータリー青少年指導者
育成プログラム(RYLA)委員長

松本 浩二



明日の社会を担う青少年が、将来地域のリーダーとして、活躍していただくためのプログラムを、実施したいと思っております。

具体的な内容は、まだ検討中ですが、2015年3月～5月頃益田市での実施を予定しています。よろしくお願い申し上げます。

地区青少年交換委員長

吾郷 浩之



「小さな親善大使」。毎年、世界80カ国で8,000人を超える参加者がいる交換留学生はこう呼ばれています。学生たちは派遣先の言語を始め、歴史・文化や習慣を学ぶと共に、自国を紹介するという親善使節として海外に赴きます。そして帰国後には、国際相互理解と世界平和を推進しながらグローバルな人材として活躍が期待されています。この素晴らしいプログラムを我々ロータリアンとロータリークラブが実施していることは意外と知られていません。

一人でも多くの方に、このプログラムが一年後に自分にとって貴重な財産になったと感じて頂けるよう、常に努力を惜しまない所存です。この一年間皆様のご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

地区インターアクト委員会委員長

永島 一忠



改めてインターアクトとは、どんな目標を持っている存在なのかをここに記してみたいと思います。

それは、建設的な指導力を養成し、自己の完成を計り、他人に対する思いやりと、他人の力になる心構えを奨励し、これを実践すること、家庭と家族の重要性に対する認識を涵養すること、個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養うこと、個人的成功のためにも、地域社会の改善のためにも、さらには団体としての業績を上げるためにも、各人が責任を負うことがその基本であることを強調すること、すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識すること、地域社会、国家および世界の問題についての知識と理解を深める機会を提供すること、国際理解と全人類に対する善意を増進するために、個人として、また団体として、進むべき道を切り開くこととあります。

以上インターアクト便覧から抜粋したものを書かせていただきました。我々ロータリアンは、この目標を知って理解したうえでインターアクトと接し共に活動しなければならないと思います。今年一年よろしくお願い申し上げます。

地区ローターアクト委員会委員長

螺山 郁繁



1966年にローターアクトクラブが創立され、すでに47年が経過いたしました。今年度、地区内ローターアクトは8クラブ80数名でスタートとなりましたが、年々会員数は減少傾向にあります。とは言え、現役のアクターはとても元気で前向きです。

本年、小林地区代表は『インフィニティ(無限)』というターゲットを掲げ、限られた会員の力を結集して、無限の力を発揮しようと努力されています。どうか、この若い力に提唱クラブ以外の皆様方からもご支援ご指導を賜りますようお願い致します。

地区職業奉仕委員会委員長

森口 裕行



ロータリーは時代とともに変化しなければならない(ポール・ハリスの言葉)、私たち江津ロータリークラブは創立50周年を迎え、まさに温故知新、新たなスタートをしようとしております。しかしロータリーの変えてはならないことは職業奉仕であります。4人の専門職業人が最初の会合を行った時からロータリーの根幹をなしているからです。

地域社会の問題に取り組む為、職業専門分野に基いた指導力と専門性を生かし多様な観点をもち、そして必要な情熱と精神を持った職業人の集まりであり、私もその一人になるべく自分の仕事に誇りを持ち倫理観を高めロータリアンとして小さな輝きを持ち続けたいと思っています。

地区社会奉仕委員会委員長

寺下 衛



私達の住む地域社会をより住みやすいものにするべく各クラブの社会奉仕プロジェクトを計画され実施されていることと思います。新地区補助金制度が導入されて以来、事業の展開もより充実した内容になってきているものと感じています。それぞれのクラブで企画されたプロジェクトの趣旨を会員一人一人の皆様が十分に理解して頂き、実践することにより地域社会にロータリーが価値ある存在として認識を新たにされることと考えます。

地域社会の中でロータリーが好ましい存在として捉えられれば、ロータリーの会員基盤も充実し、発展していくだけでなく、奉仕活動を行う組織としてのロータリーの力を高めることにもなると思います。

地区国際奉仕委員会委員長

齊藤 寛



第2690地区における国際奉仕委員会の役割はGSE(Group Study Exchange)プログラムが中止になった今、どのように活動すべきか前年度国際奉仕委員会友末誠夫委員長とともに苦慮致しました。国際奉仕活動は多くのクラブにおいて様々な国際交流事業を通し、国際的な奉仕活動が行われています。その活動はロータリーの友誌やガバナー月信に紹介されない限り、多くのロータリーメンバーには知り得ないところです。そうした国際奉仕の実情を、ネットを通じて地区内の各クラブの取り組みを紹介頂き、地区のHPで紹介させて頂ければと昨年度の委員会において方向性をみたところでした。いよいよ実践です。

各クラブの皆様のご協力をお願い致します。

地区研修リーダーチーム長 (PDG)

葛尾 信弘



松本祐二ガバナーにエールを!!

御承知の如く去る7月1日、ロータリー新年度が発足し松本祐二ガバナーが誕生した。小林定治バスターガバナー(岡山西南RC)指名委員長と共に地元として関わっていただけた一層感慨深い。心からのエールを送り協力したい。松本ガバナーを盛り立てる益田西RCは会員30名弱の小規模クラブながら、同じ第5グループの大田、江津、浜田、益田RCからの強力な支援を受けグループ全体がホストクラブである。極めて良い前例を作った。この様な例は国際ロータリー全体から見れば極当たり前であり、今後、志のある人はクラブの大小規模を問わず討って出て戴きたい。

ところで、松本ガバナー月信第1号組織図に見る如く、ロータリーにはバスターガバナーの協力は欠かせない。地区内外はもとより、国際ロータリー、ロータリー財団に及ぶ。

渡辺好政元RI理事、伊藤文利国際大会・協議会SAA、鳥居滋バスターガバナーの規定審議会や地区ロータリー財団委員長として、ロータリー財団セミナーなど。私自身も指名委員長、米山記念奨学会理事(現在2期目)、ロータリー文庫運営委員、研修リーダー、地区諮問委員会出席など。バスターガバナーも皆で松本ガバナーを盛り上げ、サポートしている次第です。

地区危機管理委員会委員長

第2690地区 第5グループガバナー補佐

中山 俊彦



地区危機管理委員会委員長を拝命して

国際ロータリー第2690地区危機管理委員長を拝命しました。この委員会は地区が実施する新世代育成プログラムにおいて、それに参加する全ての青少年が安全で健全な生活をおくれるよう、生活の場で起こりうる交通、自然災害、身体的、性的、精神的侵害ないし虐待等の危機に対処することを目的とするもので、私を含め13名の委員で構成され、私のクラブから4名入っておりますのは地区のガバナー補佐、ロータリーアクトや米山奨学会委員長並びに職業が弁護士という理由からです。危機に際しては迅速に的確に対処したいと思いますが、とにかくこの1年が平穏無事であって欲しいと願っております。

文庫通信 322号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報

◎「日本のロータリアンに期待する」	ロン D. パートン	2014 5p	(第 42 回ロータリー研究会報告書)
◎「RI 会長を終えて」	田中作次	2014 8p	(第 42 回ロータリー研究会報告書)
◎「北米におけるロータリー研究会」	G.Kenneth Morgan	2014 3p	(第 42 回ロータリー研究会報告書)
◎「世界のロータリー」	田中作次	2014 4p	(D.2770 地区大会の記録)
◎「今こそ考えよう、ロータリーの心と基本— RI の最近の動きとクラブの対応」	富田英寿	2014 38p	(魅力あるロータリーに)
◎「RLI とは」	南園義一	2012 6p	(RLI 研修セミナーテキスト)
◎「新戦略計画の理解と実践を」	南園義一	2014 2p	(D.2780 月信)
◎「2013 年版手続要覧「主な改定内容と解説」」	小船井修一	2014 3p	(D.2500 月信)
◎「「職業奉仕フォーラム」実施の報告」	福田武男	2014 2p	(D.2510 月信)

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



AIR MAIL



一年後の自分へ

グローバルな人材が必要とされる現代社会において、

留学経験や海外の生活・文化に触れることは

貴重な財産となります。

一年後の自分を想像してください。

そこにはきっと、今とは違う自分がいるはずです。



2015-2016年度 派遣交換学生募集

2015-2016年度の地区交換派遣学生について、募集を開始しますので、希望者を貴クラブにおいて十分ご検討のうえ、お申し込みください。

【基本事項】

交換地域／アメリカ合衆国、またはその他諸外国 交換の期間／2015年8月より1年間 人数／3名

資格／クラブ会員子女またはクラブ会員が責任を持ち得る家庭の子女を対象とし、海外到着（派遣）時、2015年8月末に15歳から18歳以下の学生で、高校1年生程度以上の学力を有すること。派遣、受け入れともクラブが責任を持つものであること。原則として派遣のクラブにおいて受け入れ、引き受けの義務がある。当委員会の規約に基づかないクラブ独自の交換については地区は関知しない。派遣学生については、各クラブにおいて十分な人物選考を行ったうえ、地区委員会に推薦し、地区委員会はその中からテストを行って合格者を決定する。派遣学生の相手地区への往復の旅費の補助は1人当たり30万円である。相手地区における通学及び生活費は先方が負担する。

【申し込み期限】

各クラブから当委員会への申し込みは、2014年9月30日（火）必着とする。

【選考日】

2014年11月を予定。詳細は後日通知する。

選考テスト：英語（英会話と筆記）・国語（日本語による作文）・面接

【申し込み方法】

青少年交換派遣学生願書に必要事項を記入して応募すること。

※願書は地区ホームページからダウンロードしてください。

詳細はホームページを確認のこと

<http://www.rotary.org/ja/> [トップページ] → [学生と青少年] → [青少年交換]



国際ロータリー
第2690地区
松本祐二ガバナー事務所
青少年交換委員会 事務局

〒694-0064
島根県大田市大田町大田イ76-6
プラザホテルさんべ
TEL・FAX 0854-82-5121
E-mail: oda-rc@ginzan-tv.ne.jp
<http://www.rid2690.com/>



■ガバナー事務所

〒698-0033 島根県益田市元町 12-7 益田商工会議所 1F

TEL 0856-25-7269 FAX 0856-25-7268

E-mail: office@rid2690.com

HP: <http://www.rid2690.com>

（ホームページよりPDFをダウンロードできます。）